



としよ 図書だより

令和7年7月

大田区立松仙小学校

校長 早見 泰一
読書学習司書 亀卦川 理恵子

「本ってすごい！こんないいこといっぱい」

○ことばがふえる

たくさんのことばにふれると、話したり書いたりする力が育ちます。

○想像力が豊かになる

読んでいると、まるで自分がその世界にいるみたい！
目に見えない世界を思いうかべる力がつきます。

○人の気持ちを考えられるようになる

主人公の気持ちに寄り添って「もし自分だったら」と考えることが出来る。

○知らなかった事を学べる

いろんなジャンルの本を読むことで、知識や考え方が増えます。

○考える力がつく

「どうしてこうなったんだろう？」「この後どうなるのかな？」と自分の頭で考える練習になる。

読書感想文の書き方のコツ

感想文を書く前に、自分へ3つの質問

- ① この本の何が心に残った？
- ② それはどうして？
- ③ その時自分はどう思った？



感想文を3つの部分に分ける

はじめ…この本を選んだ理由や、どんな話だったかを簡単に書く

なか…特に心に残った場面について、どう思ったかを書こう。自分の経験や気持ちとつなげてみよう

おわり…この本を読んで、わかったこと、考えたこと、自分の気持ちをまとめよう

書く時のポイント！

- ✓ あらすじだけにならないよう
- ✓ 自分の気持ちをまっすぐに書こう
- ✓ すごい文章じゃなくて大丈夫！「わたしはこう思った」ことが一番大切

夏休み用の本の貸し出しについて

7/7(月)～7/18(金)まで夏休みの本を貸し出します。

水曜日は閉館

1人3冊まで借りることができます。

同じ種類の本は2冊までです。

(調べる本ばかりではなく、読み物を1冊は借りましょう)

最終返却日は9/9(火)です。

遅れないようにしてください。

夏休みの図書館開館日時

7/22(火)～7/31(木)土・日を除く9:00～12:00

プールが中止になっても開館しています。

読み終わった本を返却し、新しく本を借りたり、涼しい図書館でゆっくり本を読んだり、宿題をしたりして利用してください。

蔵書点検を8/25(月)・26(火)図書ボランティアと久が原図書館の方に協力をいただき行います



昨年度の3年生が書いた、冒険物語を展示していました。個性豊かな、想像力いっぱいの物語ばかりでした。



2025年 課題図書

課題図書

低学年



ライオンのくにのねずみ

さかとく み雪／作 中央公論新社
ライオンのくにに引っ越したネズミの家族。使う言葉も習慣も体の大きさも違う彼らは、お互いにわかりあうことができるのか? 「優しさと勇気」についての絵本としても、「国際理解教育」の教材としても読める一冊。(TRC MARC より)



ぼくのねこポー

岩瀬成子／作 PHP 研究所
学校からの帰り道、塀の上にいたねこを家に連れて帰った。ぼくの家ねこになってくれたらいいな、と思っていたけれど、仲良くなった転校生の森くんから、引っ越した日にねこが逃げ出したことを聞いて…。(TRC MARC より)



ともだち

リンダ・サラ／作 ひさかたチャイルド
ぼくとエトは、大のなかよし。丘の上で段ボール箱の中に入って遊ぶ。ある日、知らない男の子が仲間に入れてほしいとやってきた。エトは「いいよ!」と言ったけど…。新しい友達が現れ、揺れる「ぼく」の気持ちを描いた物語。(TRC MARC より)



ワレワレは アマガエル

松橋 利光／文 アリス館
アマガエルの暮らしを知っている? ギャッギャッという大きな声のひみつや、産卵からおたまじゃくしになり、冬眠するまでを、アマガエルが楽しく自己紹介する写真絵本。写真について詳しく解説した「かえるメモ」も掲載。(TRC MARC より)

中学年



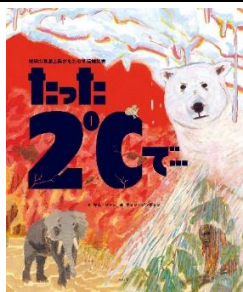
ふみきりペンギン

おくはら ゆめ／作 あかね書房
ゆうとはペンギンの話を、るりは白いへびの噂を、ななこは鏡のライオンを、そうすけはフクロウの占いを、聞いたり、見たり、感じたり…。「ふつうとは?」を決めつけず「自分らしさ」を肯定する、ある町の小学3年生の物語。(TRC MARC より)



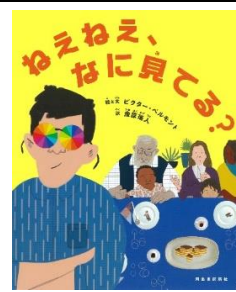
バラクラバボーイ

ジェニー・ロフツ／作 文研出版
バラクラバ帽をかぶった転入生のトミーがやってきた。なぜトミーは帽子をかぶってるの? あの帽子の下には何が隠されている? ぼくとドゥミサニの退屈な日々は、「バラクラバ・ボーイ」によって大きく変わり…。(TRC MARC より)



たった2℃で

キム ファン／文 童心社
地球の平均気温が2℃あがると、環境災害がはじまる。地球の気温上昇をとめろ! 地球温暖化による環境の変化がもたらす生きものたちへの重大な危機を、絵で直感的にわかりやすく表現した絵本。(TRC MARC より)



ねえねえ、なにを見てる?

ビクター・バルベント／文 河出書房新社
科学者のママ、ゲーム好きのパパ、音楽家のおじさん…。同じ場にいる、見ているもの、その見え方は全く違う!? 食卓を囲む家族の異なる世界を鮮やかに描く、多様性と共感について知る絵本。(TRC MARC より)

高学年



ぼくの色みつけた!

志津 栄子／作 講談社
「色覚障がい」を隠して生活する信太郎。母親は試すようなことをしてくるし、症状を知らない級友から似顔絵の唇を茶色に塗ったことを馬鹿にされ、自信を失ってしまう。だが、担任の先生が信太郎に向き合ってくれて…。(TRC MARC より)



森に帰らなかったカラス

ジーン・ウィルス／作 徳間書店
1957年、ロンドン郊外の町。少年ミックはケガをしたカラスのひなを助けた。ひなはミックになつき、やがて地域の人気者になるが…。のちにロンドン動物園の主任飼育員となった少年の、実話にもとづく心あたたまる物語。(TRC MARC より)



マナティーがいた夏

イヴァン・グリア／作 ほるぷ出版
11歳の夏休み、ピーターはすべてうまくやれるはずだった。「生き物発見ノート」を完成させ、認知症のおじいちゃんの世話をし、けがをしたマナティーを守る。ところが…。変化に向き合う勇気をくれる、ひと夏の成長物語。(TRC MARC より)



とびたて! みんなのドラゴン

オザワ部長／著 岩崎書店
殻を破り、壁を乗り越え、自分を好きになる。人前でしゃべれない内気な女の子が出会ったのは、難病をわずらう先生。仲間たちと力を合わせ、夢の舞台に挑んだ感動の物語。(TRC MARC より)